

ラオス通信 — ໂທລະຄົມ ລາວ —

発行日 平成27年2月5日 Vol.2 ~仕事内容~



ラオスで何をしているか？

こんにちは。今回は私の配属先及び活動内容を紹介します。まず配属先ですが、ウドムサイ県計画投資局といい、中央官庁である計画投資省下の県レベルの出先機関です。主な業務は国の開発計画に基づく公共投資及び国内外からの民間投資の促進、国際機関からの援助の評価・モニタリング、各種統計の整備です。規模としては、5つの課から構成され、職員数は40名程度です。

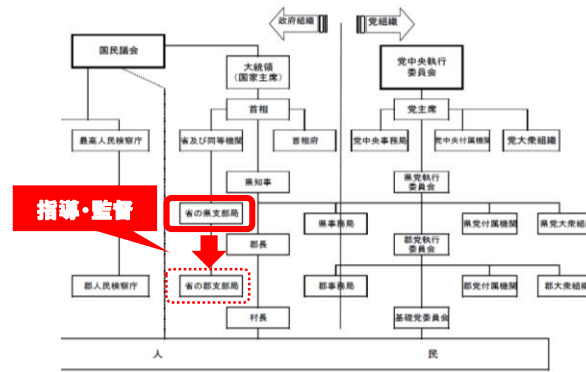
私が配属されているのは、モニタリング・評価課という部署で主な業務は県内で行われる公共事業、民間投資、ODA等のプロジェクトの審査・管理・評価です。そこで、私はJICAの公共投資プロジェクト(PCAP注1)で取り組んできた手法の県事務所及び県の下位機関である郡事務所への普及・定着化を図る仕事をしています。

計画投資局ってどのような位置づけ？

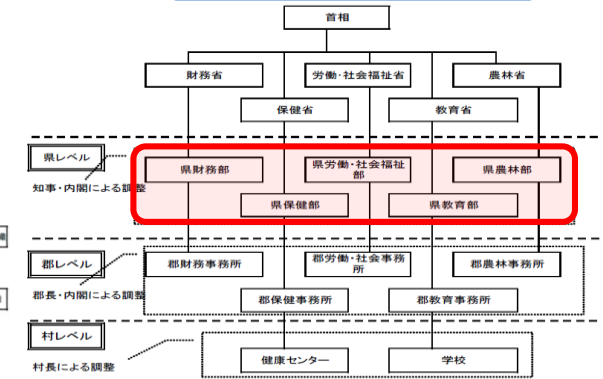
計画投資省は、毎年農林省、保健省などの各事業担当省庁から事業計画の予算要求を受け、ヒアリング・査定を経て、国全体の予算編成を行います。日本の財務省の役割を果たしています。ラオスにも財務省はありますが、経常経費の管理のみを行っています。計画投資局はその地方出先機関として県レベルで各事業担当部局と折衝して予算編成を行います。予算案はその後県知事が最終的に決定します。

この県レベルそして郡レベルの出先機関の職員(県知事、郡長を含む)の身分は国家公務員とされており、実質的に“地方自治体”は存在せず、中央集権的な体制になっています。

ラオス政治の権力関係注2



中央・地方関係概念図注3



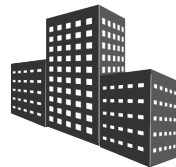
具体的な仕事は？

私の仕事は県レベルで実施される公共・民間事業の運営・管理を県職員が適切に行えるように業務遂行能力を向上させ、また、郡レベルでも運営・管理できるようにワークショップや研修会などを通じて郡職員の能力を向上させることです。

あとがき

協力隊の仕事って聞くと何もない田舎に行って「井戸掘る」というイメージがあります。しかし、現在はハード分野の支援より教育やマーケティングなどのソフト分野の支援が多いです。私の仕事も行政機構のガバナンス強化といった国際協力の分野でも新しい分野の仕事です。日本とは異なった政治体制や慣行での仕事の進め方に戸惑いも多くまだまだ活動は模索が続いています。

同じ赴任地の隊員たち



冷房完備！！



(左)オフィス外観
(右)同僚たち



注1 Project or Capacity Building in PIP Management の略です。同国が掲げる公共投資プログラム(PIP)を効率的な管理を通じて効果的な結果が達成できる手法をPCAPという。
注2, 3 http://www.soumu.go.jp/main_content/000096650.pdf(総務省HP 2015/2/5)